



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月10日

上場会社名 ソーダニッカ株式会社
 コード番号 8158 URL <https://www.sodanikka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長洲 崇彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 宮本 隆博
 定時株主総会開催予定日 2021年6月22日 配当支払開始予定日 2021年6月23日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

上場取引所 東

TEL 03-3245-1803

2021年6月23日

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	94,586	5.2	781	24.2	1,072	17.4	800	4.7
2020年3月期	99,749	4.4	1,030	25.1	1,298	22.9	840	24.8

(注) 包括利益 2021年3月期 2,940百万円 (%) 2020年3月期 253百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	32.04		3.2	1.8	0.8
2020年3月期	33.67		3.5	2.1	1.0

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	61,436	25,997	42.3	1,039.55
2020年3月期	58,467	23,389	40.0	936.51

(参考) 自己資本 2021年3月期 25,997百万円 2020年3月期 23,389百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,264	399	351	10,684
2020年3月期	1,657	230	383	10,171

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		7.00		7.00	14.00	349	41.6	1.5
2021年3月期		7.00		7.00	14.00	349	43.7	1.4
2022年3月期(予想)		7.00		7.00	14.00		38.5	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	25,300		460	29.4	510	1.2	320	1.7	12.80
通期	51,500		1,010	29.3	1,190	11.0	910	13.6	36.39

2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計規準第29号 2020年3月31日)等が適用となるため、当該基準適用前である2021年3月期の売上高の実績値に対する増減率は記載していません。当該基準適用後の通期増減率につきましては、決算短信(添付資料)5ページ「経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	25,168,000 株	2020年3月期	25,168,000 株
期末自己株式数	2021年3月期	159,941 株	2020年3月期	192,677 株
期中平均株式数	2021年3月期	24,998,193 株	2020年3月期	24,964,886 株

(注)詳細は、決算短信(添付資料)15ページ「3.連結財務諸表及び主な注記(5)連結財務諸表に関する注記事項(1株当たり情報)」をご覧ください。

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	92,143	5.5	777	25.9	1,059	20.0	809	18.4
2020年3月期	97,476	4.4	1,050	23.3	1,324	20.8	683	36.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	32.38	
2020年3月期	27.38	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	60,841		25,819		42.4		1,032.45	
2020年3月期	57,902		23,162		40.0		927.43	

(参考) 自己資本 2021年3月期 25,819百万円 2020年3月期 23,162百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、決算短信(添付資料)5ページ「経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況.....	2
(2) 当期の財政状態の概況.....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況.....	4
(4) 今後の見通し.....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表.....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により期の序盤に急速な景気後退となりました。5月に緊急事態宣言が解除され経済活動が再開となった以降、製造業の生産や輸出は緩やかな持ち直しの動きが継続しましたが、一方で不定期的な感染拡大の繰り返しにより、期の終盤にかけては経済回復も一部弱含みの動きが見られました。

当社グループに関係の深い業界につきましても、夏場以降徐々に生産回復の動きを見せ回復基調は続いておりますが、先行きの不透明感等により期末にかけては回復にも一時的な停滞が見られました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、お取引先様、地域社会、当社グループ従業員等、関係者の感染防止に最大限配慮した上で、受注の確保や拡販活動を継続するとともに販売管理費の節減に取り組んでまいりましたが、新型コロナウイルス感染症による経済活動停滞等の影響を受けました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高 945 億 8 千 6 百万円（前期比 5.2%減）、営業利益 7 億 8 千 1 百万円（同 24.2%減）、経常利益 10 億 7 千 2 百万円（同 17.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益 8 億円（同 4.7%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

化学品事業

無機薬品につきましては、主力商品のか性ソーダは取扱数量の減少により減収となりました。その他の商品では、マンガン化合物が輸出の増加により増収となりましたが、水酸化マグネシウム及び硫酸は取扱数量の減少により減収となりました。

有機薬品につきましては、加工デンブン類及びエタノールが取扱数量の増加により増収となりましたが、製紙用ラテックスは市況の低迷により減収となりました。

その他資材ではトイレタリー関連商品が取扱数量の増加により増収となりました。

この結果、化学品事業といたしましては、売上高は前期に比べ 5.8%減の 704 億 5 千 5 百万円、セグメント利益（営業利益）は前期に比べ 10.4%減の 22 億 2 千 1 百万円となりました。

機能材事業

包装材料につきましては、複合フィルムは需要の増加により、またナイロンフィルムは中国向け輸出の好調により増収となりましたが、ポリ塩化ビニリデンフィルムは取扱数量の減少により減収となりました。

合成樹脂につきましては、ポリエチレン樹脂及びポリプロピレン樹脂が需要の減少により減収となりました。

機器類につきましては化学装置関連機器が大型案件の受注により増収となりましたが、電気関連機器は案件の減少により減収となりました。

この結果、機能材事業といたしましては、売上高は前期に比べ 4.6%減の 202 億 3 千 1 百万円、セグメント利益（営業利益）は前期に比べ 8.1%増の 5 億 6 千 7 百万円となりました。

その他事業

その他事業につきましては、売上高は前期に比べ 2.9%増の 38 億 9 千 8 百万円、セグメント利益（営業利益）は前期に比べ 45.0%増の 7 千 2 百万円となりました。

セグメント別販売実績

(単位：百万円・%)

期 別 事業別	前連結会計年度 (2020年3月期)		当連結会計年度 (2021年3月期)		比較増減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
化学品事業	74,761	74.9	70,455	74.5	△4,305
機能材事業	21,200	21.3	20,231	21.4	△969
その他事業	3,787	3.8	3,898	4.1	111
合 計	99,749	100	94,586	100	△5,163

品目別販売実績

(単位：百万円・%)

期 別 商品別	前連結会計年度 (2020年3月期)		当連結会計年度 (2021年3月期)		比較増減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
ソ ー ダ 製 品	22,230	22.3	19,230	20.3	△3,000
ソーダ二次製品	8,245	8.3	8,418	8.9	173
その他無機薬品	23,096	23.1	22,712	24.0	△383
無機薬品計	53,572	53.7	50,360	53.2	△3,211
有 機 薬 品	15,970	16.0	15,055	16.0	△914
合 成 樹 脂	19,822	19.9	18,365	19.4	△1,456
機 器 ・ 材 料	4,096	4.1	4,156	4.4	60
資源リサイクル・処理剤	3,119	3.1	2,662	2.8	△457
そ の 他	3,168	3.2	3,985	4.2	816
合 計	99,749	100	94,586	100	△5,163

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は前連結会計年度末に比べ29億6千9百万円増加いたしました。

増減の主なものは資産の部では、投資有価証券が34億3千4百万円増加いたしました。負債の部では、繰延税金負債が8億4千2百万円増加いたしました。純資産の部では、その他有価証券評価差額金が21億7千8百万円増加いたしました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローは、現金及び現金同等物が106億8千4百万円となり、前連結会計年度末より5億1千2百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、12億6千4百万円の収入となりました。これは、税金等調整前当期純利益が12億1千4百万円でありましたが、売上債権の減少が6億2千4百万円、仕入債務の減少が4億8千2百万円となったこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億9千9百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億5千5百万円、投資有価証券の取得による支出3億9千6百万円、投資有価証券の売却による収入2億5千2百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億5千1百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払額3億4千9百万円によるものであります。

なお、キャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期
自己資本比率 (%)	41.0	38.6	38.0	40.0	42.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	22.9	30.5	22.8	25.4	23.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	3.4	12.5	2.6	3.3	4.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ	38.2	11.1	60.6	45.4	32.8

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務諸表により算出しております。

※株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の日本経済の見通しにつきましては、新型コロナウイルスワクチンの接種が開始されたものの、人口の一定割合までワクチン接種が完了し経済活動が本格的な回復状態に至るには暫く時間を要するものと推測されます。

また、ワクチン接種の遅れや変異型ウイルスの発生などにより再び感染拡大が発生し、再度景気後退局面に移行するリスクも懸念されます。

このような環境の中、当社グループの2022年3月期の通期業績予想につきましては、次のとおりであります。

2022年3月期の連結業績予想

	2021年3月期 実績	2021年3月期 会計基準適用後	2022年3月期 予想	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	94,586	47,781	51,500	7.8
営業利益	781	781	1,010	29.3
経常利益	1,072	1,072	1,190	11.0
親会社株主に帰属 する当期純利益	800	800	910	13.6

※ 当社は2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等が適用となるため、上記連結業績予想は当該基準に基づいた金額としております。当該基準の適用により、売上高は適用前より減少となりますが、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益に影響はありません。また増減率は2022年3月期予想値と会計基準適用後の2021年3月期との比較で算出しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準により連結財務諸表を作成しております。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえ、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,323	10,833
受取手形及び売掛金	33,497	32,715
商品及び製品	1,204	1,168
その他	1,041	919
貸倒引当金	△25	△82
流動資産合計	46,041	45,554
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,133	2,155
減価償却累計額	△1,725	△1,748
建物及び構築物(純額)	408	407
車両運搬具	26	27
減価償却累計額	△20	△23
車両運搬具(純額)	5	4
土地	1,087	1,135
その他	1,076	1,105
減価償却累計額	△933	△892
その他(純額)	143	212
有形固定資産合計	1,644	1,759
無形固定資産	371	292
投資その他の資産		
投資有価証券	9,752	13,186
その他	664	803
貸倒引当金	△7	△160
投資その他の資産合計	10,409	13,829
固定資産合計	12,425	15,882
資産合計	58,467	61,436

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,921	25,435
短期借入金	5,040	5,040
未払法人税等	248	288
賞与引当金	290	290
役員賞与引当金	30	24
損害補償損失引当金	41	16
その他	816	711
流動負債合計	32,388	31,805
固定負債		
繰延税金負債	923	1,765
再評価に係る繰延税金負債	194	187
退職給付に係る負債	1,059	1,157
長期預り保証金	505	515
その他	6	9
固定負債合計	2,688	3,634
負債合計	35,077	35,439
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,762	3,762
資本剰余金	3,140	3,148
利益剰余金	13,098	13,562
自己株式	△54	△45
株主資本合計	19,947	20,428
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,291	5,469
繰延ヘッジ損益	1	6
土地再評価差額金	148	134
為替換算調整勘定	18	11
退職給付に係る調整累計額	△16	△54
その他の包括利益累計額合計	3,442	5,568
純資産合計	23,389	25,997
負債純資産合計	58,467	61,436

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)
売上高	99,749	94,586
売上原価	93,089	88,136
売上総利益	6,660	6,449
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	1,142	1,119
給料及び手当	1,784	1,937
賞与引当金繰入額	289	287
役員賞与引当金繰入額	30	24
退職給付費用	105	108
賃借料	439	448
その他	1,837	1,742
販売費及び一般管理費合計	5,629	5,668
営業利益	1,030	781
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	296	290
その他	44	54
営業外収益合計	344	348
営業外費用		
支払利息	38	37
売上割引	11	11
その他	28	7
営業外費用合計	77	56
経常利益	1,298	1,072
特別利益		
投資有価証券売却益	67	189
特別利益合計	67	189
特別損失		
会員権評価損	15	-
損害補償損失引当金繰入額	42	-
減損損失	-	20
固定資産除売却損	-	16
投資有価証券評価損	-	9
特別損失合計	57	47
税金等調整前当期純利益	1,307	1,214
法人税、住民税及び事業税	503	496
法人税等調整額	△36	△83
法人税等合計	467	413
当期純利益	840	800
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	840	800

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	840	800
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,126	2,178
繰延ヘッジ損益	2	4
為替換算調整勘定	△8	△6
退職給付に係る調整額	38	△37
その他の包括利益合計	△1,093	2,139
包括利益	△253	2,940
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△253	2,940
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,762	3,130	12,607	△64	19,435
当期変動額					
剰余金の配当			△349		△349
親会社株主に帰属する当期純利益			840		840
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		10		9	20
土地再評価差額金の取崩					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	10	491	9	511
当期末残高	3,762	3,140	13,098	△54	19,947

	その他の包括利益累計額						純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	4,417	△0	148	27	△55	4,536	23,971
当期変動額							
剰余金の配当							△349
親会社株主に帰属する当期純利益							840
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							20
土地再評価差額金の取崩							—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,126	2	—	△8	38	△1,093	△1,093
当期変動額合計	△1,126	2	—	△8	38	△1,093	△582
当期末残高	3,291	1	148	18	△16	3,442	23,389

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,762	3,140	13,098	△54	19,947
当期変動額					
剰余金の配当			△349		△349
親会社株主に帰属する当期純利益			800		800
自己株式の取得					—
自己株式の処分		7		9	17
土地再評価差額金の取崩			13		13
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	7	464	9	481
当期末残高	3,762	3,148	13,562	△45	20,428

	その他の包括利益累計額						純資産合計
	その他の有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	3,291	1	148	18	△16	3,442	23,389
当期変動額							
剰余金の配当							△349
親会社株主に帰属する当期純利益							800
自己株式の取得							—
自己株式の処分							17
土地再評価差額金の取崩							13
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,178	4	△13	△6	△37	2,125	2,125
当期変動額合計	2,178	4	△13	△6	△37	2,125	2,607
当期末残高	5,469	6	134	11	△54	5,568	25,997

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,307	1,214
減価償却費	184	196
投資有価証券評価損益(△は益)	-	9
会員権評価損	15	-
減損損失	-	20
損害補償損失引当金繰入額	42	△25
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17	209
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	43	43
受取利息及び受取配当金	△299	△293
支払利息	38	37
固定資産除売却損益(△は益)	-	16
投資有価証券売却損益(△は益)	△67	△189
売上債権の増減額(△は増加)	4,517	624
たな卸資産の増減額(△は増加)	△73	33
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,587	△482
その他	△171	45
小計	1,933	1,462
利息及び配当金の受取額	300	294
利息の支払額	△36	△38
法人税等の支払額	△539	△454
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,657	1,264
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7	△155
定期預金の払戻による収入	-	158
有形固定資産の取得による支出	△65	△255
無形固定資産の取得による支出	△230	△9
投資有価証券の取得による支出	△17	△396
投資有価証券の売却による収入	79	252
その他	10	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△230	△399
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△30	-
配当金の支払額	△349	△349
その他	△2	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△383	△351
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,035	512
現金及び現金同等物の期首残高	9,136	10,171
現金及び現金同等物の期末残高	10,171	10,684

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会・経営会議が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、化学品専門商社として各種商品及び加工品等の売買を行っており、主な商品群として無機・有機薬品などの化学品と合成樹脂製品・機器類などの機能材に大別されます。

したがって、商品の特性・形態・販売方法等を勘案し、「化学品事業」、「機能材事業」及び「その他事業」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
 ○前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	連結損益計算書 計上額 (注)2
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	74,761	21,200	3,787	99,749	—	99,749
セグメント間の内部 売上高又は振替高	65	1,380	864	2,309	△ 2,309	—
計	74,826	22,581	4,652	102,059	△ 2,309	99,749
セグメント利益	2,479	524	49	3,053	△ 2,023	1,030

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,023百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用
 であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

○当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	連結損益計算書 計上額 (注)2
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	70,455	20,231	3,898	94,586	—	94,586
セグメント間の内部 売上高又は振替高	50	1,336	951	2,339	△ 2,339	—
計	70,506	21,568	4,850	96,925	△ 2,339	94,586
セグメント利益	2,221	567	72	2,861	△ 2,080	781

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,080百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用
 であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

各セグメントに属する主要商品群等

セグメント	主要商品群等
化学品事業	ソーダ製品、ソーダ二次製品、アンモニア系製品、その他無機薬品、 塩素系・弗素系・石油系溶剤、石油化学製品、有機ファインケミカル
機能材事業	合成樹脂原料、合成樹脂製品、ガラス繊維、包装資材製品、 工事、機器、電子材料、産業用材料、資源リサイクル・処理剤
その他事業	連結子会社7社(ソーダニッカビジネスサポート(株)、曹達日化商貿(上海)有限 公司、PT. SODA NIKKA INDONESIA、(株)日本包装、SODA NIKKA VIETNAM CO., LTD.、 モリス(株)、(株)日進)、賃貸収入

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	936.51円	1,039.55円
1株当たり当期純利益金額	33.67円	32.04円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。	同左

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	840	800
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	840	800
普通株式の期中平均株式数(千株)	24,964	24,998

2. 1株当たりの純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	23,389	25,997
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	23,389	25,997
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(千株)	24,975	25,008

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

以上